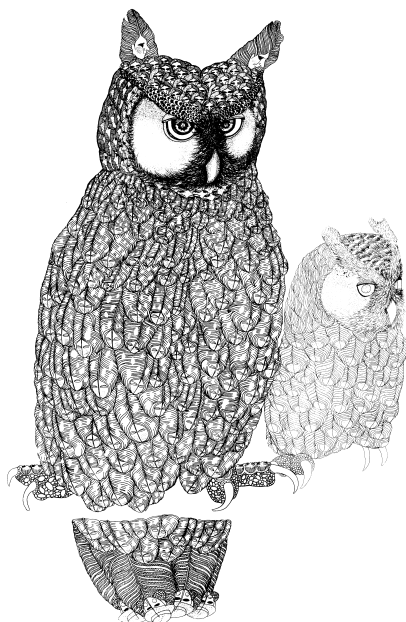


六葉会

会報 vol.18



ap

The shadow of my soul

Akisa Shimizu



関東学院六浦中学校・高等学校同窓会

クラス会だより

37回生の学生会が10月1日(日)食堂で開催されました。4年に1度、ワールドカップの年に開催を目指し、今回で2



回目で萩原先生を囲んで約50名の参加でした。

目次

会長挨拶 六葉会会長 野澤 一良	1
校長挨拶 校長 落越 道彦	2
六葉会 新幹事長に聞く	3
関東学院監事を退任するにあたって	4
OB対談 前田 征道	6
恵まれた環境で 高校サッカー部	8
国津先生、お疲れさま そしてありがとうございました	9
大井人先生の思い出 永野 肇	10
恋愛小説を出版 山本 康子	11
第3回ホームカミングデー開催	12
第一回関東学院三春台、六浦校卒業生 親睦ゴルフ大会開催される	13
9回生クラス会	14
2005年度決算報告書	15
学校へ行こう「六浦祭」10/27・10/28開催	16
関東学院による「遺贈による寄付制度」が発足	表3
計報	表3
募集コーナー	表3
編集後記	表3
関東学院六浦中学校生徒募集要項	裏表紙
維持会費のご協力をお願い	裏表紙

会長挨拶

皆様ご協力よろしく願います



六葉会会長

野澤 一良 (第20回卒)

卒業生の皆様、こんにちは。今年度より六葉会会長を仰せつかりました20回卒の野澤一良です。

35年前、卒業した直後に常任幹事として六葉会の仕事を始め、沢山の先輩方にご指導をいただきました。ながら夢中で過ごしてきましたら2006年度の幹事総会で会長に指名されました。

田野井名誉会長のもとで幹事長

として、また西岡顧問のもとでは副会長として勤めさせていただいてまいりましたが、今年度からは会長として母校と卒業生のために一生懸命やろうと思っています。よろしくお願い致します。

今年度の六葉会は西岡前会長が作ってくださった「母校支援委員会」と「卒業生支援委員会」の二つの委員会をさらに発展させていくような活動をしていきたいと思っています。母校支援委員会では前年度までの活動を効果的に継続することを主眼に活動を進めていきたいと思っています。また卒業生支援委員会では今年度も来春3月にホームカミングデーの開催を計画しておりますがお招きの卒業生である第17回卒、第22回卒はもとより、他の学年の皆様にもご参加いただけるよう準備を進めております。学年会やクラス会とは違った雰囲気の中で学年を越えた暖かい交流が生まれますことを願っております。

現在、私は母校の六穂会（PTA）の会長もやらせていただいておりますので、母校の様子も非常に良く分かります。このように学校に密着しておりますので常に新しい情報も沢山入ってきます。そんな立場も六葉会の活動に生かしていければと考えております。

今後の六葉会の進め方ですが先輩方のお知恵を拝借し、若い常任幹事の皆さんの活力で母校と卒業生全員のために一人になれ「奉仕せよ」の校訓のもと、実社会や六葉会を通じて活動していきたいと考えております。

六葉会ホームページも出来る限り更新をして新しい情報を卒業生の皆様に流せるように努力していきたいと思っていますのでご期待ください。

皆様方にご協力をいただきながら進めてまいりたいと思っていますのでご意見やご要望をお寄せください。

「新たな目標に向けて」



校長 落越 道彦

六葉会会員の皆様には、ご健勝のことと拝察申し上げ、平素の本校へのご支援を感謝いたします。

六葉会におかれましては、今年度より、会長が西岡義榮氏から野澤一良氏に代わられ新役員人事のもとで活躍されております。前会長西岡氏の本校へのお働きにお礼申し上げます。

本校からこの3月に188名が卒業し、六葉会に所属することになりました。この新しい会員も宜しく願っています。

本校は皆様ご承知のとおり半世紀を越えて教育活動を続けてまいりました。この間、変えてはならないものは堅持しながら、社会状況の変化に対応してきました。その歴史の流れの中で近年は、農業革命、産業革

命に次ぐであろうと表現されるほど、激しく社会が変化してきています。その変化は、今まで当たり前であった価値観や人間観をも変えてしまうとの思いに至らせるほどです。人々がその変化に対応しきれず、戸惑う状況では、学校教育に対する意識や期待も当然変わってきています。そこで本校もより明確な教育目標を提示する必要があると判断し、検討を重ねてきました。その結果、教育基本方針を確認・制定し、見学の精神や校訓「人になれ 奉仕せよ」の基で目指すべき生徒像を次のように三つの形で表現するに至りました。これは、従来のキリスト教精神による自立した人格形成と、社会に貢献できる教養ある人材の育成のための目標をより具現化することに向けたものであり、校訓が聖書と祈りによって導かれたことを自覚し、我々も聖書に基づいて制定したものです。

一、共に励まし合う人

(テサロニケ一 五章十一節)

現在の個人主義の進展は、自己否定的感情やごく身近な人以外への無関心の傾向をもたらしています。自他の人格を尊重し、関わりあいのできる人間

関係を目指します。
二、社会に奉仕する人

(ローマ 十二章七節A)

人は社会的な存在です。社会に目を向け、他者との関わりの中で他者に共感し、社会に奉仕できるように目指します。

三、平和を尊重する人

(マタイ 五章九節)

本校の創設は戦災が契機でした。しかし、これには反戦への思いのみならず、もっと身近な人々が安全に暮らせることを含めています。そのためには信頼関係が不可欠であり、それに基づく人間関係を目指します。

(一、二、三、は『いんまぬえる(100号)』からの引用)

これらの実践に向けて、現在の教育体制を2007年度新入生より新しいものにします。中高の6年間を2学年ごとの3段階とし、それぞれに教育目標を定めることにしました。

教職員は、現在在校生への教育活動と新体制への準備に励んでいる昨今です。

今年度の新入生たちも、六浦祭の準備に入っています。六浦祭へ卒業生の皆様にもご来場いただきたくご案内申し上げます。

六葉会 新幹事長に聞く

六葉会幹事長 鬼嶋 雄三（27回生）
インタビュアー…六葉会広報副委員長 長谷川 巧（37回生）

長谷川 新幹事長に就任されましたが、抱負をお聞かせ下さい。

鬼嶋 まだ抱負が言えるほどの経験がありませんが、六葉会の様々な活動を円滑に進められるよう取組んでいきたいと思っています。

長谷川 同窓会を維持していくために、どのような理想をお持ちですか？
鬼嶋 これまで田野井さん、西岡さん、野澤さんが何十年という間、会の活動に携わってこられた伝統を維持しながら、次の世代へ繋げていければと思います。同窓会が100年、200年と続いていくようにしたいです。

長谷川 六葉会では、ホームカミングデーや六浦祭への参加などをして

いますが、企画行事における希望はありますか？

鬼嶋 出来るだけ多くの方に同窓会を知っていただき、参加してもらう所から始めたいです。

学校の新校舎などが作られる際に寄付金を募りますが、あまり多く集められていないのが現状です。卒業生が一万千人になりましたので、皆さんにご参加いただければ学校、同窓会が発展していきます。そのためには今後、ホームページなどで



▲写真左から、長谷川氏、鬼嶋氏

参加の呼び掛けを続けていきたいと思っています。そして将来は、若い世代の意見を聞き、卒業生のためにできることがあれば行事を企画したいと考えています。

長谷川 最後に、一言メッセージをお願いします。

鬼嶋 さきほどの内容と重なりますが、同窓会というのは現在の活動だけでなく、永遠に続くものです。是非とも伝統を守るために出来るだけ多くの方に参加していただきたい。卒業生が参加しやすいような同窓会づくりを目指していきたいと思っています。

長谷川 本日はありがとうございました。

関東学院監事を退任するにあたって

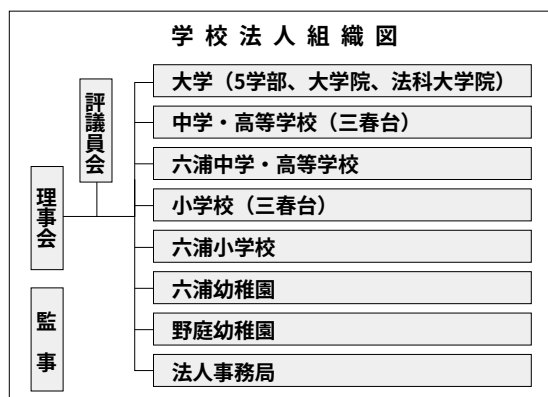


吉沢 寿朗

はじめに

3 回生（1955 年卒業）の吉沢です。この9月まで2期8年間「学校法人関東学院」の監事（一般の会社における監査役）を務めて参りましたが、70歳になるのを期に退任させて頂きました。後任には、7 回生の田野井一雄さんが務めて下さいます。ご活躍下さる事を確信しております。ここに8年間の経験を踏まえ、学校法人関東学院に付いて現状と課題を紹介させて頂きます。

学校法人組織図



① 左の図の様に、理事会の下に大学（大学院を含む）を始め各学校が属しており、学校法人を構成しています。

学校法人関東学院の組織

② 理事会は、理事長（元本大学教授）、学院長（本大学教授）、大学教授（学長、学部長ほかで9名）、両中高校長（2名）、両小学校長（2名）、幼稚園長（1名）、合同同窓会員（1名、大学OB）日本バプテスト同盟員（1名）、米国バプテスト協会員（1名）の19名で構成されています。

③ 監事は、日本バプテスト同盟員（1名）、米国バプテスト協会員（1名）、合同同窓会員（1名）の3名で構成されています。

（合同同窓会は、大学・小学校の各校同窓会によって組織されています）

学院の規模

① 学生・生徒数

大学・大学院 約12、100名
中・高校（三春台）

約1、540名
六浦中・高校 約1、200名

財務状況（平成17年度 決算値）

（1）収入（消費収入）

学生生徒等納付金	約160.6億円
手数料（入試検定料など）	約4.2億円
補助金（国庫・県など）	約22.6億円
その他	約21.2億円
基本金組入額	約20.4億円
（法定積立金。減額項目）	
合 計	約188.2億円

（2）支出（消費支出）

人件費	約113.7億円
教育研究費	約64.2億円
管理経費	約8.8億円
その他	約0.1億円
合 計	約186.8億円

（3）資産状況

固定資産	約891.0億円
流動資産	約127.2億円
合 計	約1,018.2億円

両小学校 約950名
両幼稚園 約330名
合 計 約16、120名

（2）教員数

（内）基督教者数 77名
約1、400名

（3）職員数

（内）基督教者数 2名
約420名

（4）財務関連特記事項として

①学院全体では、17年度は僅かに黒字（約1・3億円）であるが、収入額は年々減少傾向にある。

②収入の約1割強を占める補助金（国・県など）も、将来減少が危惧される。

③消費支出のうち、人件費が約61%である。

課題として

（1）「受験希望者の減少」に代表される当学院への社会的評価の低下傾向が続いている。これに伴って、入学者の資質・意欲・学力などのレベル低下が懸念される。

（2）法人経営に当たる人々（理事）が、殆ど学院内部出身者で占められており、議論・意思決定が内向きになり易い。

終わりに

少子化が急速に進む中で、我らの母校が衰退する事なく発展して行く為には、我々卒業生が実社会の中で日夜持てる力を十二分に發揮して「関東学院（特に六浦中高）の卒業生は流石に素晴らしい人材だ」と言われる様に努めて行く事が、極めて大切であると思います。

実社会に於いて現役で活躍中の後輩諸君の一層の研鑽と努力・奉仕をお願いする次第です。

— 人生の成功の秘訣を探る —
ご活躍されている卒業生にお伺いしました



平成18年9月12日（火） 於：リストランテ パパダビテ

株式会社キタムラ・ケイツウ 専務取締役 前田 征道
株式会社DUE 代表取締役社長

（関東学院六浦中学校 7回生、関東学院高等学校 11回生）

▲写真左から、六葉会幹事長 鬼嶋 雄三（27回生）、六葉会直前会長 西岡 義榮（14回生）、
前田氏、六葉会広報副委員長 長谷川 巧（37回生）

■ゴルフを通じて六浦・三春台の卒業生の交流を活発に

西岡 今日日は本校の卒業生である前

田征道さんに、学生時代の思い出や現在のご様子などをお伺いできればと思っております。こちらのお店は

前田さんが経営されるレストランというのですが、洗練された雰囲気のある素晴らしいお店ですね。

前田 ありがとうございます。

鬼嶋 とても居心地が良いので私もよく訪れます。

長谷川 店内が広いので、開放感がありますね。

前田 関東学院の卒業生など、様々な方に来ていただけるように作ったお店でもあるんですよ。平成17年4月にオープンして以来、多くの六浦、三春台の卒業生に来ていただいています。

長谷川 先輩は六浦、三春台の両方の卒業生と交流があるようですね。

前田 非常に仲が良く、今でも会う機会が多いです（笑）。

鬼嶋 先輩達のご協力により今年の

4月20日に開催された、六浦校と三春台校によるゴルフの交流戦は素晴らしいですね（13頁に掲載）。

前田 中学の同級生である、磯子カントリークラブの鈴木会長からゴルフ場（キングフィールズゴルフクラブ）を提供してもらい、両校の熱い



▲前田氏

思いから実現することができました。ゴルフを通じて六浦と三春台の卒業生の交流が深められればと思います。僕は高校から、六浦から三春台に転校しましたが、同じ関東学院ということで隣のクラスに行くような感覚でした。そんな気軽な気持ちで、六浦と三春台の卒業生が交流する機会が今後も増えればと思っています。

■思い出に残る先生について

西岡 在籍当時の思い出はありますか？

前田 野球が好きで、高校時代にそれまでなかった野球部を同級生で作りました。仲間同士で好きな野球を一生懸命していたことが思い出に残っています。

西岡 思い出に残る先生はいらっしゃいますか？

前田 野球部の顧問だった、数学の山内善之先生、そして理科の高木正浩先生です。山内先生には大変お世話になり、先生にお会いすると今だに当時のことをよく覚えて下さっています。高木先生は公私ともにお世話になり、在学中は自由にのびのびと学生生活を送られてくれました。長谷川 関東学院にはいい先生が多いですね。



▲写真左から鬼嶋氏、前田氏、長谷川氏

前田 そうですね。中学・高校と比較的新しい学校だったせいかな、フレッシュな先生ばかりで、何ごとでもやる気に満ちて、本気で生徒に接してくれました。中学、高校時代の先生の影響はすごく大きいと思います。

■今後の展開について

鬼嶋 事業でご苦労をされたことはありますか？

前田 苦労と感じたことはなくて、一日たりとも仕事が嫌だと思ったこともないです。お客様に喜んでもらえることを提供していくのが全ての基本で、今自分の置かれている状況がとても素敵だと思っし、常にそう感じていたいと思っています。

西岡 今後の抱負をお聞かせ下さい。



リストランテ パパ ダビデ

- 所在地
横浜市中区山下町37-8
グローリオタワー1F
TEL 045-650-7080
- 営業時間
ランチ 11:30~14:00
(ディナーまでの時間はカフェ)
ディナー 17:30~23:30
(ラストオーダー 22:30)
- 定休日
年中無休
- 収容人員
80名、立食150名。
同窓会、パーティに最適です。
前田社長までご連絡下さい。

前田 関東学院の精神と共通しますが、常に人に奉仕し、喜ばれることに取組んでいきたいと思っています。レストランに関してもお客様に愛されるお店になるよう努力していきます。長谷川 今日はいろいろなお話をしていただき、ありがとうございました。今後もますますご健勝であられますようお願い申し上げます。



恵まれた環境で

高校サッカー部 三輪 祐輝

(写真後列右から2番目)

約2年前、僕たちのグラウンドが人工芝に変わりました。初めてこのグラウンドで練習したときの喜びは今も忘れることができます。

そして、喜びと同時にこの環境に感謝しなければならぬということも強く感じました。この環境に変わって、僕たちは雨の日でも練習することができるようになりました。他の学校のサッカー部がボールを蹴ることができない日でも練習に打ち込むことができるということは本

当に感謝しなければならぬことだと思います。僕たち高校サッカー部はこの恵まれた環境の中で毎年7月に行われる全国予選の2次予選進出を目標に1人ひとりが高い意識をもって練習に励んでいます。

また、サッカーのみならず、日頃の生活面にも気を配り、生活面の向上もはかっています。

これからも最初に感じた喜びと感謝を忘れずに、努力し続けていきたいと思っています。





インターアクトOGB会アドレス iackgmogob@yahoo.co.jp

国津先生、お疲れさま

そしてありがとうございました

インターアクトクラブ 30・31回卒一同

4月のある土曜日、卒業以来23年振りにインターアクトOGB会を行いました。これは、顧問の国津先生が3月末で定年されたお祝をしようとの話が発端でした。定年のことを知り、皆に声をかけるにも23年という年月は長く、先輩や後輩達の連絡先も分からず大変でした。それでも当日集まった先輩、同級生で先生のお祝いの会はとても温かい雰囲気包まれ国津先生のうれしそうな顔が印象的でした。中でも皆が一番忘れていた事が礼拝でした。食事が運ばれ、皆がまさに「いただきます！」と食べようとした矢先、先生から「お祈りをします」とおっしゃ

られた時は、一同「あーそうだった！」と一瞬の間が有りました(笑)。卒業以来、皆が日常に追われ、お祈りを忘れていた現在の自分を先生の一言が気付かせてくれました。私も皆も静かに手を組み、先生と再び会え又インターアクトOGBと共に食事をできる事を神様に感謝しました。和やかな会に想い出話は尽きず、あっという間に時間は経ってしまいました。これからも先生を囲んでOGB会を開き、いつか温泉旅行を兼ねた会にしたいと夢を話して分かれました。

是非OGBの方々御連絡を頂きたいと思います。

今年、私達の長女が母校に入學し、インターアクトに入部しました。今年は多数入部したと娘から聞き、インターアクトの奉仕の心が受け継がれる事をうれしく思いました。

斉藤洋・治子

大井人先生の思い出

永野 肇先生



大井先生が天に召されて、まもなく一年が過ぎようとしています。先生との長い交わりを通して感じたことを書かせていただきます。

宗教室に何うといつも多くの生徒が集まっていました。さまざまな悩みや不安をもった者、あるいは喜びに満ちた者といろいろです。そして、そこにはいつも元氣な大井先生がいました。時間の許す限り、生徒の目線に合わせて彼らの心からの言葉を受容し、適切な助言をしてくれたと思います。その裏づけは、先生

のお話（説教）です。わかりやすく、力強く、説得力のある語りかけ、聞くものの心にしっかりと植えつけられました。

六浦中高で教師として出会ったとき、共に20代でした。以来40年近い大井先生との交わりを通して感じたことは、常に変わらない先生の謙虚さです。年齢は20代、30代と加齢していきますが、大井先生の心はいつも20代の若さでした。決して驕るところはなく、学びにおいても、語る言葉においても、そして人の話を聞く姿勢も熱心であり、謙虚でした。

学内での働きのほか、生活訓練（オリエンテーション）、自然教室、修養会、キャンプ、瀬戸内海伝道旅行、奉仕活動など課外の行事でも率先して生徒の指導に当たり、また生徒と共にプログラムに参加していま

した。決して傍観者でいることはありませんでした。わたしも幸いすべての行事で一緒に、先生の積極的な働きにいつも刺激され、氣持を奮いたたせることができました。体調は決して順調ではありませんでした。長い間病氣との闘いでもありました。しかし、定年退職された先生は白根新治先生が牧師をされている金沢文庫教会で、伝道者として意欲的な歩みを始められました。その矢先に天に召されました。

「主において常に喜びなさい。重ねて言います。喜びなさい。あなたがたの広い心がすべての人に知られるようになさい。」（フィリポの信徒への手紙4・4～5）

大井先生の生き方であり、私たちへのメッセージではないでしょうか。長い交わりを通して多くの賜物をいただいたことを心から感謝いたします。

恋愛小説を出版 山本 康子（第26回生）



▲毎日新聞 2006年4月12日



▲神奈川新聞 2006年4月22日



▲タウンニュース 横須賀版 2006年9月1日

中学から短大まで関東学院で楽しく過ごし、花嫁修行をして、結婚して、子育てをして…39歳の時、ひよんな事からインドに長く滞在した。今思うと、いやいや行つたインドが私を変えたような気がする。40才を過ぎてから、ふっと考えた(ちよっと遅いよな)。これから先どうしよう?って。そしたら急に何か頑張ってみたくなって、どうせ挑

戦するなら「自分らしさ」でいられるものがないと思ひ、「書くこと」を頑張る対象に決めて始めました。何回かコンテストも落選したけれど止める気にはならなかったの。どうしてかなあ?出版社の方から「書いてみませんか」と電話を頂いた時は、信じられなくて、本当にその出版社があるのか見に行っちゃったくらい。担当の方がフセンだらけ

でポロポロの私の原稿を持っていたのを見た瞬間、「わぁー、本当なんだ」と思った私は身が引き締まる思いで一杯になったのを覚えています。これからはもっと真剣に、もっと大切に書いていきたいと思った一瞬でした。
第26回卒 山本康子(旧姓・青木) ペンネーム：日向水康子

第3回ホームカミングデー開催

3月11日(土) 第三回ホームカミングデーが母校にて開催されました。今回は第11回から第16回の卒業生の皆さんをお招きして行われました。まず礼拝堂で白根新治先生の司式により礼拝が行われました。久しぶりの礼拝という方も多かったようですが元気に讃美歌を歌ってくださいました。



礼拝終了後に、母校吹奏楽部の皆さんによる歓迎の演奏が行われました。若い後輩たちの演奏にとっても感動したとの感想も多く寄せられました。快く



演奏を引き受けてくださった顧問の立田たかね先生と吹奏楽部のみなさん、本当にありがとうございました。

懇親会は関東学院大学人間環境学部のエテルニテで行われましたが、参加してくださった皆さんもこの頃にはすっかり高校生の気分に戻られたようで和気藹々とした雰囲気、懇親会となりました。宴もたけなわとなったところに旧校歌「青海の」の合唱、そして坂井先生

が作曲された現在の校歌を、坂井先生自らの指揮により、ソプラノ歌手で第32回卒の横地(旧姓 吉田) 康子さんが披露してください、盛会のうちに開きとなりました。

次回のホームカミングデーは第17回卒から第22回卒の皆さんをお招きして、来春三月上旬に開催する予定です。該当する卒業期の皆様は、この機会に是非母校にお出かけください。

■第4回ホームカミングデー

日 時..2007年3月10日(土)

受付 12時30分~

式典 13時~

参加対象..第17回生~第22回生

第一回関東学院三春台 六浦校卒業生

親睦ゴルフ大会開催される

平成18年4月20日 於…キングフィールズゴルフクラブ



七回卒のゴルフ仲間が中心になって一年間に何回かコンペを開催。それが三春台

との交流会となり、今回の「親睦ゴルフ大会」となりまして。第一回目は平成18年4月20日、キングフィールズゴルフクラブにおいて開催されました。ゴルフ場は六浦7回卒の鈴木さん

の経営で、磯子カンツリークラブの姉妹コースです。コースの状態もすべてが一流のゴルフ場でした。鈴木会長にはいろいろな面でお骨折りいただきました。さらに、クラブハウスは六浦中学一回生の磯山 元さんの設計です。いろいろなことも不思議なご縁です。関東学院の卒業生が集まればどんな問題も解決できてしまふ、参加者の多くの卒業生が同じ思いであつたろうと思います。

参加は91名。さまざまな事情で卒業生全員に参加の呼びかけができなかったことを幹事の一人としてお詫び申し上げます。

さて、朝から弱い雨が降り出しこれは大変だと思っていました。無事に天気も晴れ、日頃の自慢の腕を発揮できたのでは？競技はダブルペ

リアの方式を取り、個人戦をやり、またせっかくのことなので六浦校と三春台校の団体戦も行いました。団体戦はそれぞれのチームの上位20位までの成績の合計を取らせていただきました。終了後のパーティーの運営や競技方法には難しい問題もあらうかと思いますが、多くの参加者による和気藹々の楽しいコンペとなったことをご報告申し上げます。成績は団体戦は僅差で六浦校が勝利し、個人戦は六浦校15回卒の大竹 良さんがグロス81、ハンデ10.8、ネット70.2で優勝した。参加賞としてグリーン

のマーク（オリープの徽章をアレンジしたもの）をお配りしました。また、参加者の方々より多大な賞品のご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げます。次回は何時やるの？という質問やお問い合わせがあり、一応、年一回の開催、ということでもた来年の五月ごろの開催という予定です。参加ご希望の方は7回卒の武田正雄まで
TEL 0445 (321) 5345
(文責 西岡 義榮 14回卒)

第2回親睦ゴルフ大会は、2007年5月の予定です（卒業生ならどなたでも参加できます）。

9 回 生 クラス会

卒業（1961年3月）から早45年。4クラス合同のクラス会を平成18年7月8日（土）桜木町ワシントンホテルにて開催しました。

■参加者数

恩 師・・8名

卒業生・・58名（卒業生198名中）

〔担任〕 島田澄子先生、蔵野廣満先生

〔教科担任〕

（国語） 国近高龍先生、相原寅雄先生

（音楽） 坂井雅澄先生

（理科） 太田芳雄先生

（美術） 秦 克彦先生

（体育） 奥山繁樹先生

の方々に出席いただきました。

高度成長期を過ぎた我々は年金生活、第2の人生、又現役で頑張るなどそれぞれの生活を送っているようです。四クラス合同となると卒業後初めて再会する人も多く、会話がはずみました。

学生時代の想い出を振りかえったり、今の様子、健康、孫のことなど

話題がつかえる事はありません。先生や卒業生とお互いに次回も又健康で笑顔で会えるのを楽しみに盛会のうちにお開きとなりました。

〔1組〕 横田

〔2組〕 菊込、金子、谷口、小林（訖）

〔3組〕 東郷、吉川

〔4組〕 石橋とクラス、幹事の方

のご協力に深く感謝します。

代表幹事 島根正隆



前列左から、蔵野廣満先生、相原寅雄先生、太田芳雄先生、坂井雅澄先生、島田澄子先生
後列左から、国近高龍先生、秦克彦先生、奥山繁樹先生、坂井夫人



3組担任 蔵野廣満先生
退職後趣味の書道を活かし結婚式の案内状書きをしています。腰痛のため接骨院の通院もしています。



4組担任 島田澄子先生
学年会は久しぶりです。元気ですよ。



奥山繁樹先生
退職して6年目。元気で毎日過ごしています。



坂井雅澄先生
車椅子生活も11年目に入りおかげ様で元気にやっています。



国近高龍先生
最近ではできるだけ歩くようにしています。



秦克彦先生
久し振りにお目にかかれてうれしい。



太田芳雄先生
歩行が困難。特に階段は苦手です。



相原寅雄先生
家庭菜園で無農薬野菜を育てて収穫を楽しんでいます。

六葉会2005年度 決算報告書

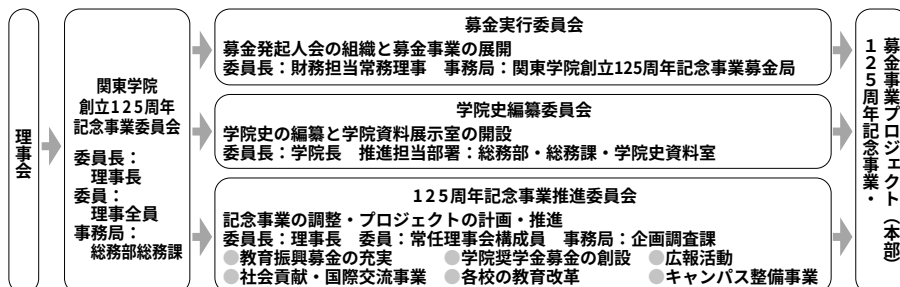
収入の部

科 目	2005年度予算	2005年度決算	増 減	備 考
5 3 回 生 会 費	2,808,000	2,808,000	0	195名
5 4 回 生 入 会 金	380,000	376,000	△ 4,000	188名
維 持 会 費	1,400,000	1,508,000	108,000	
卒業生の集い会費	0	0	0	
そ の 他 の 収 入	0	52,348	52,348	記念誌・HCD残金など
繰 越 金	1,000,000	1,000,000	0	
収 入 合 計	5,588,000	5,744,348	156,348	

支出の部

科 目	2005年度予算	2005年度決算	増 減	備 考
運営費				
会 議 費	350,000	163,956	△ 186,044	
印 刷 費	100,000	36,775	△ 63,225	
通 信 費	30,000	26,760	△ 3,240	
消 耗 品 費	800,000	815,093	15,093	名簿管理費含む
慶 弔 費	100,000	76,500	△ 23,500	4件
援 助 費	200,000	103,000	△ 97,000	12件
合同同窓会分担金	100,000	69,000	△ 31,000	
活 動 費	20,000	6,510	△ 13,490	会報取材費など
雑 費	30,000	21,140	△ 8,860	振込み手数料など
事業費				
会 報 印 刷 費	1,100,000	1,224,281	124,281	
会 報 発 送 費	750,000	674,897	△ 75,103	
行 事 費	100,000	102,031	2,031	六葉会の部屋など
生 徒 会 援 助 金	150,000	150,000	0	
積 立 金	700,000	700,000	0	
予 備 費	1,058,000	0	△ 1,058,000	
支 出 合 計	4,530,000	4,169,943	△ 360,057	
次 期 繰 越 金		1,574,405		
合 計	5,588,000	5,744,348	156,348	

関東学院創立125周年記念事業の実施組織



学校へ行こう 六浦祭

六葉会の部屋

10/27(金)・28(土) 開催

OPEN・9:00 / CLOSE・16:00

10月27日・28日の2日間
六浦祭が開催されます。卒業生の部屋として「六葉会の部屋」を今年も設けます。

門をいって正面にある
中学校舎です。卒業アルバムを全学年そろえて展示しています。現役の生徒にも先生の学生時代の写真がみることができる
とあって毎年好評です。
是非、足をお運びください。
場所は1号館3階です。



入試相談コーナー (3号館2階)

今回も入試に関する相談コーナーを設けました。入学試験のこと、本校の学校生活のことなど、担当の教職員が対応します。是非、ご相談ください。

校内各エリアでの 催し物情報

[礼拝堂]

演劇部、吹奏楽部などが発表を行います。来てください。

[演劇部]

10/27 14:30～16:00

10/28 14:30～16:00

[吹奏楽部]

10/27 11:30～13:00

10/28 11:30～13:00

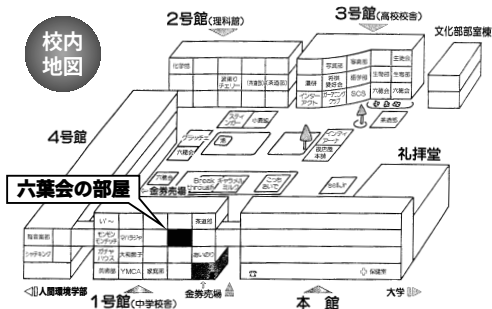
[サッカー部] 10/28

9:30 関東六浦 vs
関東学院 (高校)

11:00 関六中1・2年 VS
オーバー35才?

12:00 関六中2・3年 VS
アンダー35才

13:30 関東六浦OB VS
関東学院OB



関東学院による「遺贈による寄付制度」が発足

関東学院は、卒業生等の「遺贈による寄付制度」を通常の「寄付制度」に加え発足させました。ぜひご相談ください。

●遺贈による寄付制度のご案内

平成18年7月に、学校法人関東学院は、三菱UFJ信託銀行、住友信託銀行、中央三井信託銀行と、「遺贈による寄付制度」の委託協定を結びました。これは遺言によって、相続のトラブルをなくし、ご遺志のとおり財産分与と財産贈与を実現する制度で、近年、学校法人への遺贈の利用は、増加しつつあります。

関東学院では、卒業生、在校生父母、教職員

B及び遺贈希望の方からご相談をお受けして、提携している信託銀行をご紹介します。ご意向にかないば、ぜひこの制度をご利用いただけますようお願いいたします。なお、学校法人に遺贈した財産は、相続税の非課税財産になります。

ご相談は、左記問合せ先及び関東学院提携信託銀行（三菱UFJ信託銀行、住友信託銀行、中央三井信託銀行の各本支店）で承っております。

■「遺贈による寄付制度」についてのお問合せ
詳細については、関東学院創立125周年記念募金事務局又は財務部出納課までお問合せ下さい。

TEL 045 (786) 2685

FAX 045 (786) 7755

●関東学院の各校への寄付のお願い

関東学院では、一般寄付金（寄付の使用目的を特定しない場合）、特別寄付金（寄付の使用目的を特定する場合）及び現物寄付をお受けしております。関係各位、卒業生はもとより、在校生父母、教職員、企業の皆様よりご理解とご支援をお願い申し上げます。

■お申し込み方法

お手数ですが、左記までご連絡下さい。所定の「寄付金申込書」等をご送付いたします。

◆大学申し室 TEL 045 786 7005
◆募金事務局 TEL 045 (786) 2685

募 集 コ ー ナ

来年度の六葉会会報の記事、投稿、想い出のスナップを募集しています。クラス会の報告や現役当時のお話しなどお待ちしております。連絡先 045 (791) 3380
長谷川 takumi@ta-class.com

編 集 後 記

◎おかげさまでもちまして、第18号が完成しました。私が担当するようになり3年目です。少しでも多くの卒業生に会い、その活躍をこの会報誌に掲載したいと考えています。皆様の活躍の一つひとつが大切な記事になります。少しずつ進化をさせて行きたいと考えています。ぜひ、いろいろな情報を提供ください。(H)

◆教員 訃報

お悔やみ申し上げます

(広報委員会調査分)

大井 人先生（聖書）
加藤 良先生（社会）



▲大井先生



▲加藤先生

◆窓

安藤 雄 2 回生
伊藤 節 3 回生
菱科 正 3 回生
高梨 誠 3 回生

栗飯 原 功 4 回生
高松 威 5 回生
吉田（小山） 博 6 回生
大井 人 6 回生
伊藤 利 男 6 回生
角尾 貞 7 回生
中澤 功 8 回生
葉山 剛 三 8 回生
安田 道 生 8 回生
渋谷 哲 雄 9 回生
高野 健 助 9 回生
佐藤（中泉） 都 9 回生
平井（志浦） 美津恵 11 回生
小村 新 吉 14 回生
塚宮 正 明 14 回生
飯塚 春 德 14 回生

訂正とお詫び

Vol.17に掲載した訃報 16 回生 大場朗様はご健在です。お詫びいたします。

2007年度（平成19年度） 関東学院六浦中学校生徒募集要項

	A日程	B日程	C日程
募集人員	60名（男・女）	40名（男・女）	30名（男・女）
出願資格	いずれも本学院六浦小学校からの進学者を含みません。 2007年3月 小学校卒業見込みの者		
出願期間	1月10日(水)～1月27日(土) 8：00～15：00 ＊1月14日(日)・1月21日(日)を除く		1月10日(水)～1月27日(土) 8：00～15：00 ＊1月14日(日)・ 21日(日)を除く 2月2日(金)～2月4日(日) 8：00～15：00
出願書類	入学志願票・受験票（本校指定）		
入学検定料	20,000円（銀行振り込み、1月の出願期間中の土曜日およびC日程の2月2日(金)～2月4日(日)は願書受付窓口でも可） ただし、1月の出願期間中に、2種類または3種類の試験を同時に受験する場合の検定料の合計は、一律30,000円とします。		
入学試験日	2月1日(木) 午前	2月2日(金) 午後	2月5日(月) 午後
試験科目	国語・算数・社会・理科 または国語・算数	国語・算数・社会・理科 または国語・算数	国語・算数・社会・理科 または国語・算数
合格発表	2月1日(木) 17:30～18:30	2月2日(金) 20:00～21:00	2月5日(月) 16:00～17:00
入学手続	入学手続時納付金：入学金230,000円 特別施設費200,000円		
	2月1日(木) 17:30～18:30 2月2日(金) 9:00～11:00	2月2日(金) 20:00～21:00 2月3日(土) 9:00～11:00	2月5日(月) 16:00～17:00 2月6日(火) 9:00～11:00
	＊特別施設費は2月5日(月)まで延納可能です。 延納納付期間：2月3日(土)・4日(日) 9:00～14:00 2月5日(月) 9:00～11:00 入学手続時納付金を完納された方で、2月8日(木) 15:00 までに入学を辞退された場合、特別施設費を返金致します。		

＊提出された書類、納入された入学検定料・納付金はお返し致しません。

六葉会Webページのお知らせ

『六葉会ドットコム♪』
<http://www.rokuyoukai.com>

住所変更はホームページの
「住所変更手続き」でお知らせ下さい。

維持会費のご協力をお願い

2006年度の維持会費の納入をお願いしております。六葉会の運営に是非ともご協力下さい。納入は**同封の郵便振込用紙をご利用の上4,000円(手数料別)お振込下さい。**よろしくお願い申し上げます。

銀行名：ジャパンネット銀行（銀行コード：0033） 支店名：本店営業部（支店番号：001）
口座番号：4543584 口座名義：関東学院 六葉会（カントウガクイン ロクヨウカイ）

表紙作品：10回卒 島谷晃

2006.10.20発行

■関東学院六葉会 〒236-8504 横浜市金沢区六浦東1-50-1 1045(781)2525

■印刷・(株)エイコープリント